FUREAINO MACHIZUKURI

滴翠会会報

2016 月刊　12月号　第312号

平成3年1月創刊

社会福祉法人 滴翠会

平成28年度福祉功労者表彰

社会福祉法人滴翠会の各施設に勤務する職員への今年度の表彰は次の通りです。今後のご活躍を期待しております。誠におめでとうございます。

茨城県知事表彰

明翠苑調理員　古川百合子

明翠苑介護職員　長谷川ひろみ

茨城県社会福祉協議会会長表彰

明翠苑施設長　松田　順一

明翠苑介護職員　大谷　清巳

全国老人福祉施設協議会会長表彰

・十五年勤務

明翠苑介護職員　天貝　真弓

明翠苑介護職員　大谷　清巳

・二十年勤務

元滴翠苑主任支援員　齋藤すみい

社会福祉法人滴翠会 永年勤続表彰

・勤続十五年

滴翠苑支援員　古谷　美恵

慈翠舘チーフケアリーダー　冨田　寛子

平成二十八年を振り返って

社会福祉法人滴翠会
理事長　高木　康夫

今年は社会福祉法人滴翠会にとって創立40周年という特筆すべき年でありました。昭和51年1月23日社会福祉法人として発足以来地域福祉と共に歩んできました。零から出発した滴翠会は四十年経った今、職員一二〇名、七福祉施設を擁する法人に成長しました。10月15日には創設以来今日までの施設を利用された先亡精霊四三七名の合同慰霊祭が華翠会舘でご遺族も参列され厳修されました。更に40周年の歴史を写真と広報誌で綴る記念誌が編集されました。慈翠舘前には滴翠会創立40周年記念碑が建立されました。

平成28年を終わるにあたり皆さまのお幸せと滴翠会の益々の発展をお祈り申しあげます。

●養護老人ホーム
滴翠苑（てきすいえん）だより
かすみがうら市横堀四五一―五
TEL　〇二九九―五九―三六三一

避　難　訓　練

総合防災訓練

12月1日、かすみがうら市消防署の立会のもと、総合防災訓練を行いました。

今回は、夜間に集会室で火災が発生という設定で行われました。苑内に非常ベルが鳴り、放送で避難指示が出されると、防災頭巾、マスク、懐中電灯を装備し、皆で「火事だ！逃げろ！」と声を掛け合って避難していました。毎月行っている避難訓練の成果が出ていました。その後、消火訓練を行いました。消火器の取り扱い方の説明を受け、消火を体験しました。最後に消防署の方から総評で「良く避難出来ていました」とお言葉をいただき、火災の恐ろしさ等のお話をして頂きました。

冬は暖房器具の使用の機会が多くなります。火災に、より一層気を付けていかなければなりません。器具の点検等火災の予防に努めていきます。

出張ショッピング

11月19日に出張ショッピングが行われました。近くの衣料品店にご協力頂き年2回行われます。

今回は、主にトレーナー等の冬の洋服や下着、靴下を販売しました。購入の際は男性と女性で分けて洋服を選ぶのですが、特に女性の利用者は時間をかけ「何がいいかしら」と迷いながらも買い物を楽しんでいらっしゃいました。なかなか買い物に外出するのが難しくなってきた利用者が増えてきましたが、ゆっくりと買い物を楽しめたようで良かったです。

これから寒さがより厳しくなりますが、暖かい洋服を着てお身体を冷やさぬよう心掛けて頂き、風邪を引かずに新年を迎えてほしいと思います。また、職員も利用者の健康管理に注意していきたいと思います。

受賞者と共に

第41回 文化祭

11月10日、第41回文化祭が開催されました。今年も利用者の御家族、姉妹施設の利用者と職員の皆様にお越し頂きました。

式典では、今年一年を通して、苑内の美化活動や周りの利用者への気配りや声掛けして頂くなど苑の運営に協力して頂いた7名の方が滴翠苑表彰規定により表彰されました。また、文化祭へ出展した作品の中から特に優れた作品には特別賞が贈られました。

作品は、作業室と廊下に展示されました。陶芸や文化刺繍、アクセサリー等皆さん一生懸命作製された物です。制作期間数ヶ月の大作や苑の利用者全員で制作した手形の紅葉アート等多種多様の作品が揃いました。

今年は12人の利用者のご家族に来て頂き、大変賑やかな文化祭になりました。祝賀パーティーで一緒に食事をしながら会話を楽しまれていました。調理員の手作りお弁当も美味しいと言って頂き、完食された方が多かったです。

その他にも、お茶会やバザーも行い大盛況の一日となりました。

これからも皆さん滴翠苑の文化と触れ合って頂き充実した日々を過ごして下さるよう職員一丸となって支援していきたいと思います。

御出席頂き有難うございました。

12月の行事

総合防災訓練	12月1日
クリスマス忘年会	12月21日
お誕生会	12月27日
年末の辞	12月31日

●救護施設

慈翠舘だより

石岡市半ノ木一一一四六一
TEL〇二九九―二四―二八七一

感染症対策で水分補給

感染症対策

楽しかった文化祭が終り、いよいよ寒さが到来します。今年は急に気温が下がったり、暖かくなったりと体調を崩しやすい天候のようです。

慈翠舘でも数名の方が声枯れや喉の不調を訴えています。一年を通して、外出後や決まった時間の手洗い、うがいの励行、手指の消毒、手摺りやドアノブ、ホール床、廊下の消毒を行なっている他、11月から新たに食堂の椅子、床も毎日消毒を行う事にしました。利用者の皆さんにも協力していただき、いつも清潔を保てるようにしています。

職員も外部からウイルスや菌を持ち込まない様にと、出勤前に検温を行い、必ずマスクを着用するなど細心の注意を払っています。

冬本番です。感染症に打ち勝って楽しい冬を過ごしましょう。

相談援助業務担当者研修

ケアワーカー　森村　健

11月14日と15日に相談援助業務担当者研修を受講してきました。「聴く・繋ぐ」をテーマに利用者の希望・要望の聴き方や支援計画の立て方を演習や講義を通して学んで参りました。

私は相談とは話すことだと思っていたのですが、福祉における相談とは利用者の話を聴くことです。「聴く」時は、提案や質問をあまりせずに丁寧にお話を聴き、利用者自らが問題に気付いてもらうことです。職員は問題解決のお手伝いをするという事になります。「繋ぐ」とは利用者の支援と社会資源や福祉のネットワーク、さまざまな制度とを繋げるということです。

私にとって利用者支援の基本を振り返る良い機会となりました。この研修の成果を今後の支援に活かしていきたいと思います。

鍋　の　日

鍋の日

朝晩の冷え込みが厳しく感じられる季節は温かいお料理が恋しくなります。慈翠舘ではこの時期になるとお昼の時間に食堂にてお鍋を食べる鍋の日を設けています。鍋の日は、利用者の要望により実施される様になりました。

今回のお鍋は寄せ鍋で、ホタテ・鶏団子・白菜・葱、えのきに加えて最後にうどんと盛りだくさんの内容です。蓋を開けると、たくさんの湯気と共に野菜やお肉が、おいしそうに煮えていました。

早速皆さんのお皿に盛り付けていくと自然に頬が緩んで笑顔がこぼれ、体も温まって行きます。次々とおかわりをして、鍋はあっという間に無くなってしまいました。「おいしかった」と本日の鍋は大好評でした。鍋の日は3月まで毎月行われます。楽しみにしていてくださいね。

新任職員紹介

看護師　名取美佐子（平成28年11月採用）

11月より、慈翠舘の看護師として働くことになりました名取美佐子と申します。石岡から通勤しています。家族は四人で、主人と大学生の子供が二人います。私は、歌が大好きで、時々カラオケに娘と一緒に行くことが楽しみです。入社してまだ日が浅く利用者の方の一人一人の名前を覚えることに一苦労していますが、先輩の職員の方に教えていただきながら一日でも早く仕事を覚え皆さんの役に立てるように頑張りたいと思いますので、よろしくお願い致します。

職員研修・会議

関東地区救護施設職員研修会　11月14～16日
相談救助業務担当者研修　11月14～15日
クレーム対応力強化研修　11月24～25日
救護施設福祉サービス研修会　11月29～30日

12月の行事

クリスマス忘年会　12月14日
年末式　12月29日

●特別養護老人ホーム

明翠苑（めいすいえん）だより

石岡市半ノ木一一四八一一一
TEL〇二九九―二三―九六二〇

今泉石岡市長より賞状と記念品が贈られました

百歳のお祝い

明翠苑では今年、中村リヱ様と大枝ゆう様が百歳を迎えられました。

11月10日、石岡市長が来苑され、二人に内閣総理大臣・県知事・市長の表彰状と記念品が伝達されました。お二人ともしっかりとした言葉で「ありがとうございます」と言われ涙ぐむ姿も見られました。

11月23日にはご家族も同席のもと、明翠苑主催で「百歳のお祝い」を行いました。理事長からは表彰状と記念品が贈られました。万寿会からは花束とベストとコーヒーなどが贈られ、利用者からも手作りのクス玉と折り紙で作られた鶴の首飾りが手渡されました。昼食は、明翠苑特別メニューのお祝い膳が作られ皆で祝いました。

明翠苑では百歳を迎えた方がこれで4人となりました。皆様誠におめでとうございます。これからも職員一同利用者様の生活を一生懸命支援して参ります。

総合防災訓練

11月7日、明翠苑・華翠会館の総合防災訓練を行いました。

当日は、石岡市消防署員・日本防災職員の方々立ち会いのもと、避難訓練・通報訓練を行った後、消火器・屋内消火栓を使った職員の実践的な消火訓練を行いました。

避難訓練・通報訓練は明翠苑調理室より出火し、火災に気付いた調理員が初期消火するも火が燃え広がり火災報知機を作動させるという設定で行いました。毎月避難訓練を行っている成果もあり、利用者をスムーズに避難場所へ誘導することができました。

消火訓練では、消火器と屋内消火栓を実際に使って消火訓練を行い、消防署員から消火訓練に関しては全体的に質を上げるべきなど指摘がありました。

今後も利用者の皆様が安心して生活できるよう、訓練して職員の防災意識を高めていきます。

ふぁみりー通信

11月の出来事

11月１日　「座談会」が開かれ、食事等で食べたい物や生活での要望などを聞きました。

11月３日　慈翠舘の「文化祭」が行われ、アトラクションの石岡中学校の吹奏楽部の皆さんの演奏を観て来ました。

11月８日　ふらんす亭喫茶が開かれ、好みの物を注文していました。一番人気は、おしるこでした。

11月10日　滴翠苑の「文化祭」が行われ、職員３名・利用者２名が参加し作品展示やバザーを楽しみました。

11月16日　「売店」が開かれ、おせんべい、チョコレートなど好みの物を買っていました。

11月22日　ふらんす亭食事が開かれ、親子丼セット・鮭の胡麻味噌焼き定食･きのこスパゲティーセット･フレンチトーストセットの中から選んで召し上がって頂きました。

明翠苑ニュース

（11月分）

面　会	63件	延88名来苑
外　出	０件	外泊０件
ショートステイ	７名	延56日利用
ボランティア		
売店ボランティア	１名１日来苑	
研　修		
個別ケアとケアプラン研修会	11月28日	

明翠苑の「日常あ･れ･こ･れ」

万　寿　会

明翠苑利用者の自治組織「万寿会」があります。活動内容は、２ヶ月に１回行っている誕生会の開催とお渡しするプレゼントの購入、お祝い事や法要の時にお花を供えたり、亡くなった方へ香典を用意したり、100歳を迎えられた方に賞状と記念品の贈呈などをしています。

「万寿会役員」は、利用者の皆さんの中からの代表４～５人と職員４人で構成され、年に４～５回ほど定例の会議を開催しています。会議には、施設長、生活相談員、介護職員も加わって行なわれています。

その中では、施設運営全般についての意見交換などが行われ、利用者からの質問や要望にこたえたりしています。また「万寿会」の活動内容の改善案や誕生会のプレゼントの内容検討など万寿会会費の予算計画や使用状況・決算報告等が会議の中で行われます。

利用者の皆さんの意見を施設運営に反映させたり、施設の方針を利用者の皆さんに伝えていただくという役割を担っています。

今後も皆さんが安心・安全で笑顔がたえない楽しい生活が送れますよう対応してまいります。

●デイサービスセンター

華翠会館だより

石岡市半ノ木一一四八〇
TEL〇二九九―二三―八二〇〇

クリスマス忘年会

デイサービス日誌　11月16日（水）

利用者数　11名（男４名　女７名）
レクリエーション　クッキング
りんごとさつま芋のどら焼き

りんごとさつま芋を使った秋らしいどら焼きを作りました。柔らかく蒸かしたさつま芋をつぶし、細かく切ったりんごを混ぜ、焼き上げたどら焼きの皮に挟みます。クッキング初参加の男性とベテラン男性の焼くどら焼きの皮がきれいなまんまるで、仕上がりも大変良く、とても美味しいと大好評でした。おやつに皆でおいしく頂きました。

デイサービス日誌　12月12日（月）

利用者数　12名（男５名　女７名）
レクリエーション　クリスマス忘年会

１年を締め括る行事、クリスマス忘年会を行いました。皆で合唱したり、ビンゴゲームや職員の余興を楽しみました。二人羽織で美人（？）になった看護師に笑い、ひげダンスをするサンタクロースが出て来たり、なりきり歌手の相談員に泣き笑い…ケーキとプレゼントの小物は手作りで皆さん大変喜んでいらっしゃいました。来年も良い年になりますように。

職員のマスク着用について

インフルエンザ等の感染症流行に伴い、華翠会館では全職員がマスク着用をしております。顔が見えず不快に感じられるかと思いますが、感染症予防と皆様の健康を守る為感染対策を強化していく所存です。御理解と御協力をお願い申し上げます。

※咳をされている方は、マスクをして頂く場合があります。

年末・年始は
通常通り
営業しております。

明翠苑居宅介護支援センターだより

石岡市半ノ木一一四八一一一
TEL〇二九九―二三―九六三四

介護利用料の医療費控除

介護サービス費には医療費控除の対象になるものがあります。

居宅で受ける介護サービスは、医療系と福祉系に大きく区分されます。医療系のサービスとは訪問看護、訪問リハビリ、通所リハビリ、短期入所療養介護（老人保健施設など）などで、介護サービス利用料の自己負担分と食費、滞在にかかる自己負担分が控除の対象で、さらに介護保険の支給限度額を超えて利用した全額自己負担分も控除の対象になります。

福祉系の居宅介護サービスとは通所介護や訪問入浴、短期入所生活介護（特別養護老人ホームなど）で、この場合は前記の医療系の居宅介護サービスとセットで利用する場合に、医療控除の対象となります。医療系のサービスとは違って自己負担分と食費・滞在費の2分の1が医療費控除の対象となり、支給限度額を超えた分は控除の対象になりません。例を挙げればデイサービスだけを利用している場合は医療費控除の対象外ですが、一緒に訪問介護も利用している場合はデイサービスの利用分も控除の対象になると言うことです。

次に医療費控除として申告できるおむつ代は、傷病等でおおよそ6カ月以上寝たきりで、医師からおむつの使用が必要と認められた人となっていますが寝たきりでないとだめなのかと言うとそういうわけではなく、車椅子を利用している人なども対象となっています。医療費控除の際には、「おむつ代の領収書」と医師が発行する「おむつ使用証明書」を添付する必要がありますのでおむつを使用している人は医師に相談するといいでしょう。

医療費控除の対象になる交通費は、通所リハビリや短期入所療養介護等を受けるために施設に通うときに支払った交通費です。電車やバスのような正確な料金がわかる交通機関を利用した場合には領収書は不要ですが、タクシーを利用した場合は領収書が必要です。

施設に入所している場合も医療系の施設なら全額が、福祉系の施設なら2分の1が医療費控除の対象になりますので忘れずに申請しましょう。

ケアマネジャー　井川　由美子

私のMENU（メニュー）

☆里芋とお米を使ったお餅

お正月の楽しみの一つにお雑煮等の餅を使った料理がありますが、高齢者が喉をつまらせる事故は毎年起きているようです。

当施設でも〝餅〟を召し上がられる方がほとんどいないのですが、前回の正月には餅のかわりになる物がないかと探し、里芋と米を使ったお餅の代替品をみつけたので作ってみました。好評だったのでご紹介します。

●材　料（小さめの餅12個分）

うるち米 一合／冷凍里芋 100g／塩 一つまみ／水 270cc

●作り方

①うるち米はといでザルにあげておく。
②炊飯器に①の米と水、塩を入れ里芋を米の上にのせる。
③普通に炊き、炊きあがったら蓋を開け５分程そのままにする。
④ご飯と里芋をすりこぎなどで潰しながら混ぜる。
⑤食べやすい大きさに形を整える。

明翠苑 管理栄養士　飯田　仁美

今月のことば 20

一葉落ちて天下の秋を知る

桐の一葉が落ちたのを見て秋の到来を知る。すなはち物事の兆し（きざし）見て衰退を察すること。

ご利用をお待ちしています

養護老人ホーム　滴翠苑
救護施設　慈翠館
特別養護老人ホーム　明翠苑
ユニット型特別養護老人ホーム　明翠苑
ショートステイ施設　明翠苑
独立型デイサービスセンター　華翠会館
明翠苑居宅介護支援センター

職員募集中　詳しくはホームページ又は施設へご連絡下さい

医療法人高木医院

TEKISUIKAI

社会福祉法人　滴翠会　http://tekisuikai.or.jp/